

## 宮古港海岸鍬ヶ崎地区・藤原地区防潮堤工事の「安全祈願祭」を開催！

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

平成26年8月1日に宮古市鍬ヶ崎地区、8月6日に藤原地区において、防潮堤工事の着手を前に安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭は、宮古港海岸鍬ヶ崎地区及び藤原地区防潮堤工事の受注業者である樋下建設株式会社が主催し、工事関係者をはじめ、地権者の方々が出席して行われました。東日本大震災津波により犠牲になられた方々へ黙祷した後、玉串奉奠等の神事により工事の安全と早期完成を祈願しました。

安全祈願祭に当たり発注者を代表し、沿岸広域振興局の桐田教男副局長が、「関係者の皆様への感謝を申し上げ、早期復旧に向けて全力で取り組んでいきたい」と、挨拶しました。

### 位置図



### 安全祈願祭の様子



【鍬ヶ崎地区】



【藤原地区】

### 宮古港鯨ヶ崎地区の概要

宮古市鯨ヶ崎地区は、住宅地や魚市場、製氷施設などが集積した水産拠点としての機能に加えて、みなとオアシスと道の駅に認定された「シートピアなあと」を有する観光・賑わい空間として活用されている地域でありましたが、平成23年3月11日の東日本大震災津波により、甚大な被害を受けました。  
付近の津波痕跡では、T.P.+11.6mの痕跡高が確認されています。  
※ T.P.とは・・・東京湾平均海面からの高さ



被災前(平成22年3月)

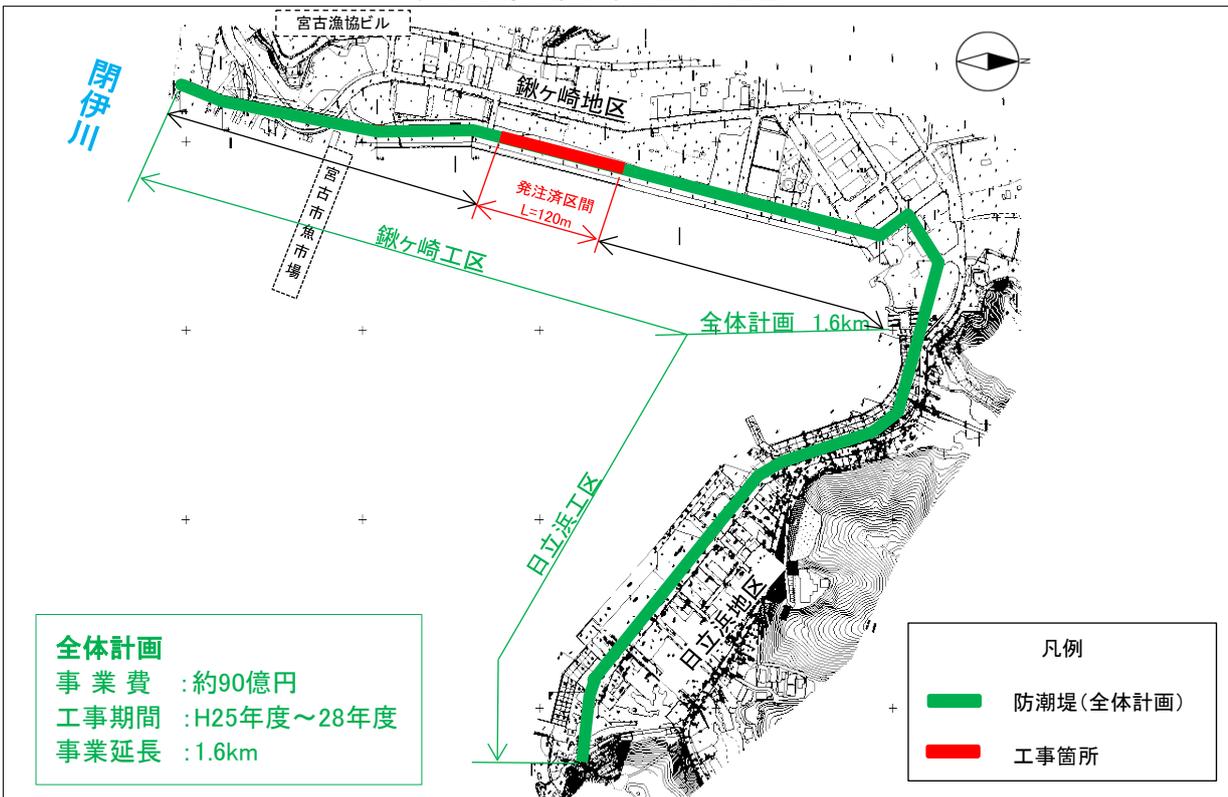


被災後(平成23年3月)

### 防潮堤工事の概要

鯨ヶ崎地区では、これまで防潮堤が整備されていなかったところですが、県では、「岩手県津波防災技術専門委員会」における検討結果等を踏まえ、宮古湾の新計画堤防高をT.P.+10.4mで新たに整備することとしました。

宮古港海岸鯨ヶ崎地区の平面図



### 宮古港藤原地区の概要

宮古市藤原地区は、住宅地や水産加工業用地のほか、藤原埠頭周辺では物流拠点や工業用地として活用されている地域でありましたが、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災津波により、甚大な被害を受けました。

付近の津波痕跡では、痕跡高 T.P.+11.6m と既設防潮堤高 (T.P.+8.5m) を大きく越える津波であったことが確認されています。

※ T.P.とは・・・東京湾平均海面からの高さ



被災前 (平成 22 年 3 月)



被災後 (平成 23 年 3 月)

### 防潮堤工事の概要

県では、「岩手県津波防災技術専門委員会」における検討結果等を踏まえ、宮古湾の新計画堤防高を T.P.+10.4m で整備することとしました。また、地元からの要望を踏まえ防潮堤を現在の位置から海側に変更しました。

宮古港海岸藤原地区の平面図

